

令和5年度 第2回徳島県自転車活用検討委員会

日時：令和5年8月29日（火）13:30～

場所：徳島県庁11階 講堂

～ 議 事 概 要 ～

■議事(1)「第2次徳島県自転車活用推進計画(案)」について

(事務局)

【資料1、2、3】により説明

(中西委員)

パブリックコメントで大規模レースの後にマイクロツーリズムを企画してはとのご意見がありました。大規模レースが何を指しているかはわかりませんが、当該レースを県として企画するのであれば、計画に記載する必要があると思います。また、鳴門駅との連携が重要であると私は考えており、大鳴門橋自転車道から下ってきて、徳島駅までは行けないが、鳴門駅までだったら行けるといふ人はいると思います。それで、鳴門駅から徳島駅、鳴門駅から高松、徳島駅経由で阿南や池田に行くことができると思うので、JRとの連携も記載しておいた方が、パブリックコメントのご意見にもあったように、鳴門市だけで終わらせずに、他の市町村でもお金を使ってもらったり、泊まってもらえることを考えるといいと思います。あと、鳴門駅は終着駅なので、写真を撮ることを希望される方が多いと思います。鳴門駅で一度留まっていたいて、その間、鳴門駅周辺で遊べる、写真が撮れるような施策を記載しておいた方がいいと思います。

(山中委員長)

大規模レースは、ロードレースはないので、ロングライドですかね。

(中西委員)

大規模ロードレース開催前後に、少人数のガイド付きツアーを企画してとありますが、おそらく、しまなみ海道の成功事例をこの方はご存じだと思うんです。対応案では、ガイド付きツアーの企画に関しての記載は33ページと48、49ページにあったのですが、大規模レースに関しては記載がありませんでした。

(山中委員長)

スポーツ振興課で進めていただいています。ライドイベント自体はそれぞれの実施主体が開催していますが、それに対して、県としてどのような支援をしているかということですね。

(中西委員)

鳴門市では「鳴門・南あわじ渦潮グルメライド」が、5月にあるので、それを大規模なイベントとするのか。県として、どのようにお考えなのでしょうか。

(山中委員長)

48ページではイベントの情報発信を県が実施していきますということになっていますね。あと、41ページではブースの出展などの記載があります。

(中西委員)

例えば、アワイチとの連携がありますね。「鳴門・南あわじ渦潮グルメライド」とアワイチを連動させるとか。しまなみ海道は愛媛県と広島県で共催していると思います。あるいは、今あるものを活用できると考えているのか、ということを考えられた方がいいと思います。このようなことが、パブリックコメントのご意見に対してのお答えになるのではないのでしょうか。

(事務局)

サイクリングイベントに関しては15ページに過去の主なイベントを記載しております。ロングライドも含めて、これらのイベントを48ページではSNSなどの様々な媒体を使いながら、PRすることとしておりますので、そのあたりを連動させたような形で補足の記載をしたいと思います。

あわせて、鳴門駅等の活用に関しては記載しておりませんので、記載を検討したいと思います。

なお、公共交通との連携に関して、鳴門駅が大鳴門橋自転車道の活用に向けてのポイントの1つになると思いますが、自転車活用推進計画では、大鳴門橋自転車道だけでなく、県下全域での取組について記載しており、32ページの各種交通機関と連携強化の最後の段落になりますが、「引き続き、各種公共交通をはじめ、サイクル・キャビンやシェアサイクル等と連携し、移動が容易となる環境を整える」と記載しております。

(山中委員長)

今の議論は44ページに関連していると思います。サイクルステーションに関して、大鳴門橋架橋記念館エディでのサイクルステーションの整備などが記載されています。また、現在は、「UZU PARK」が機能しているとの記載もあります。我々がゲートウェイと呼んでいる、県外からお越しの方がそこで、自転車に乗り換えるという機能を有するところ、空港、鉄道駅などが、ゲートウェイとして設定されるのですが、このようなイメージで鳴門駅も考えてはどうかというご意見だと思います。ゲートウェイという言葉はどこかに記載がありますか。

(事務局)

44ページの2行目に記載しております。

(山中委員長)

ここに記載の鉄道駅の中にはどの駅が含まれるかということになりますが、実施の段階では鳴門駅が非常に重要になるとのご指摘ですので、追記を検討いただきたいと思います。

(山本委員)

パブリックコメントのご意見の9番目でサイクルラックに関して、弊社の方では、県内の6駅にサイクルピットを整備しております。

鳴門駅では、従前は駅前の歩道にサイクルピットを整備しておりましたが、軒下であり、雨天の際に使いづらいということもありまして、鳴門駅の駐輪場の屋根の下に移動しております。しかしながら、初めてお越しになる方にとっては、場所がわかりづらいので、わかりやすい表示に変えていきたいと考えております。

(山中委員長)

駅のサイクルピットのことですね。ご意見にあるサイクルラックが使いづらいという話は現場で確認する必要があると思います。

(近藤委員)

48ページ、49ページのあたりで、サイクリスト向けの情報発信について記載いただいておりますが、一方で、レンタサイクル、サイクリストなどが立ち寄れるところ、イベント等を企画する民間事業者に向けた情報発信というのはどのようにされていくのか。また、立地の誘導までは難しいと思いますが、民間事業者の参入をどのようにサポートしていくか、といったことについて、現状での方針がありましたら、教えていただきたいです。

もう一点が、安全面に関して、高齢者もヘルメットを被っていないように私は感じています。講習を開催していただいておりますが、着用率が上がらないという現状ですので、よりよい施策があればいいと思っております。

(山中委員長)

民間事業者の受入れについて何かございますか。

(事務局)

民間事業者の方に検討状況をお示しして、事業計画などを検討いただけるようにしたいと思います。大鳴門橋自転車道検討部会では、商工関係、青年会議所などの団体の方も参画いただいておりますので、情報を引き続きお示しして、連携しながら、大鳴門橋自転車道に向けての受け入れ体制の充実を図っていきたいと考えております。

(山中委員長)

高齢者ヘルメットについては何かご意見ありますか。

(中西委員)

徳島県の着用率を上げるためには、いかに高校生と大学生に被らせるかと思えます。中学生で身についた習慣をいかに高校生まで継続させるというのは、警察、教育委員会との連携になると思えます。

(山中委員長)

愛媛県松山市では、高校生がほぼ90%以上でヘルメットを被っており、高齢者も、高校生がそれだけ被っているなら、被らないといけないと感じる状況になっていると思えます。そういった面で、高校からはじめるというのが、1

つの手段になると思います。

また、ヘルメットを買っても、被らないということも起きています。そのあたりをうまくPRしていく必要もあると思います。被っていることは命を守るし、大切なことだと思うんです。購入を補助しても、被らないで置いたままにってしまうこともあり得るので、是非フォローをお願いできればと思います。

(藤井委員)

つるぎ高校では校門で自転車で来る人を点検するようにしています。また、春と秋に自転車の点検もしています。中学校では、入学する時点で、町が補助金を出しており、入学前にも説明会があります。あと、先日、高齢者の方にヘルメットを買う場所を聞かれましたが、高齢者には自転車を運転するのもままならない方もいると思います。ただ、買い物に行ったりするのに、押してでも自転車の方がいいと思う方もいます。このような方に対して自転車の利用についてどのように説明したらいいのかなと思っています。乗らない方が安全と思うところがありますので。ヘルメットについては、安全とか、カッコいいとかいろいろ選べると思うんですが、選び方についてはどうでしょうか。

(中西委員)

ただ、被るだけではなくて、安全に被るということが大事なんですね。店舗で、アドバイスをいただいてお買い上げいただくというのが一番いいと思います。

(藤井委員)

学校の入学説明会の場で、業者さんと呼んでそこで、一緒に説明してもらおうかなやり方がいいのでしょうか。

(中西委員)

学校の入学の際に業者さんと呼んで説明いただくことも考えられます。でもみんなが同じヘルメットだと被りたくない気持ちがわいてきそうです。

(藤井委員)

「中」などの文字が入っている場合がありますよね。

(中西委員)

そうです。中学生のヘルメットがかっこ悪いので、高校生で被りたくなくなるということもあると思います。

(山中委員長)

指定ヘルメットではない方がいいってことですかね。

(中西委員)

ヘルメットはある程度自由にやられた方が個性も出やすいですし、被りやすいと思います。自転車活用推進計画としては、自転車の利用率が上がるとそれにあわせて、ヘルメット着用率も上がるということが正しい姿だと思うんですよ。

(山中委員長)

ヘルメットの着用を推進いただくということなんで、是非とも利用率等のチェックをしていただきたいと思います。モニタリングをする仕組みを入れておいていただくといいと思います。

(山本委員)

ヘルメットの着用に限らず、自転車の安全利用の推進というのは非常に大事なことだと思います。9月21日から秋の全国交通安全運動が実施されます。ここにお集まりのメンバーの方々もそれぞれの立場で活動をされることと思います。このような活動の輪を通じて連携してPRできればと思います。

(消費者政策課)

自転車ヘルメットの件で議論されておりますので、補足させていただきます。先ほどもお話がありましたが、高校生が被れば着用率が伸びるということで、愛媛県では、高校生に対して補助を行って、ほとんどの高校生が着用しています、その相乗効果が他の年齢の方にもあらわれて非常に着用率が高い状況にありますので、ヘルメットを被る必要性を全世代の方が理解することによって、着用率が上がると考えております。このことから、高校生になってもヘルメット着用する必要性を訴えていき、罰則を設けなくても、自分の命を守るために被るんだという意識を啓発活動を通じて訴えることで、着用率を上げていくことを考えております。当課もヘルメット購入支援制度ということで、高齢者と高校生について、購入の補助金を出して着用率を上げる取組を検討しておりますので、どうかご理解いただけたらと思います。

(山中委員長)

おっしゃるとおりですね。自分の身を守るためのことなので、法律で義務化してしまう話もおかしいという議論もしたことがあります。あと、自転車に関しては反則金制度の議論も出ています。県別にばらばらにするのは望ましくないので、悩ましい話だと思います。

■議事(2)路面標示(矢羽根、ピクト等)の標準仕様(案)について

(事務局)

【資料1、4、5】により説明

(中西委員)

徳島市で既に自転車専用通行帯と矢羽根を整備されていますが、それらの自転車の利用率は調査されていますか。

(事務局)

調査していないとのことです。

(中西委員)

私がよく使う道なんですけど、助任のあたりは違法駐停車車両が多くて走りにくい感じがするんです。そこで、もう少し郊外に設置していただいて、どんな感じで通れるのかということ进行测试したいなと思っています。あと、

歩道あり路肩ありのところで、自転車専用通行帯が整備されていて、そこを走行していたら、横断歩道の切れ目、車道と歩道の切れ目から、突然、自転車が逆走で入ってきたんです。だから、自転車の逆走をいかに無くすかを考えなければ、この矢羽根が生きてこないと思います。自転車の逆走を減らす施策を、警察さんと一緒に考える必要があると考えております。ピクトになんて書いてあるかを確認するために急に止まって衝突が起こることもあり得ると思っております。

(山中委員長)

10年前くらいから逆走の問題が出ており、各地で逆走を防ぐためのいろいろな考えが出てきて、その中で矢羽根が効果があるということで始めたと思います。自転車レーンを作って、ブルーに塗っただけだと逆走だらけになってしまったんです。それで、矢印がいいという話が出てきて、矢羽根になったんです。

逆走対策は街頭指導しかないんですね。特に、歩道がないところでも逆走しないようにしてもらうのが安全面で重要です。歩道がないところに矢羽根が設置されていて、左側通行を徹底すると交差点事故が大幅に減るとというのは各地で実証済みでして、それを進めて行きましょうということで、徳島市には高校生がたくさん走るような細街路にどんどん矢羽根を設置してくださいという話をしています。それで、徳島県版の小さな道にも設置できる小さな矢羽根、これは、コストが縮減できるので、どんどんやっていただけたらと思います。

あと、自転車レーン、自転車通行帯を作ってそこを走ってくれるかは、歩道の状況にもよります。歩行者がいないと歩道を走ることが多くて、歩道の状況が厳しいところはどんどん車道に出てくると思います。歩行者が多く歩いているような東京のような場所だと歩道の方が神経使うので、どんどん車道を走り始めているという状況になります。ということで、歩道走行が厳しいところからやっていただくのが逆にいいのかもしれないです。小学校、中学校周辺のような子供たちが歩いている道に矢羽根を整備するとかですね。そのあたりは市と県で、どこからやっていくかっていう議論がされると思いますので、是非お願いします。

(近藤委員)

以前から申し上げておりますが、やはり矢羽根の色が非常に派手なので、どうにかならないかと感じております。都市部と違って暗い道が多いので、色を控えめにすると全然見えなくなって意味がないという議論も別のところでしたこともあるのですが、派手な印象はあります。

もう1つ先ほどの話で、資料1の14ページで、今はわかりやすさで2番目の案が採用となっておりますが、逆走を防ぐために、危ないところには参考に記載されている青破線+矢羽根を整備してもいいと思います。

(山中委員長)

日常利用が多いところは矢羽根を追加していったり、自転車ピクトの上についている矢印だけ、使うのもいいかもしれません。

■議事(3)その他 サイクリングコース走行調査について

(事務局)

【資料1】により説明

(山中委員長)

これ以外にも確認しておいた方がいい場所とか、小松島市としておすすめしたい場所とか出てくるかと思います。ルートはこれでいいと思いますが、立ち寄り場所を検討いただけたらと思います。

(中西委員)

ルートはしっかりできていると思います。ただ、私たちが見なければいけないのは、阿南徳島自転車道の方だと思います。迷うことで有名なコースですので、大鳴門橋自転車道ができるまでに、案内方法を検討していただきたい。走行調査でもチェックできたらと思います。

あと、1つ議事を戻りますが、鳴門市のピクトの話で、資料1の7ページの設置箇所②について、徳島の方から大塚国際美術館の方へ行って、その先で右に曲がれない。あの交差点をこの際どのように右に曲がれるようにするか。現在は左に曲がって、大塚国際美術館駐車場前の横断歩道を渡って右に曲がっていくしか方法がないんですよね。この交差点を右に曲がれるようにできたらいいと思います。

(山中委員長)

この設置箇所の図で言うと、下から来て右折して行くルートが検討されていないということですか。

(中西委員)

徳島市内から行くところの方が多いいと思います。どういう行き方があるのかを検討していただきたい。

(山中委員長)

淡路島から来た人が帰るときとかですね。必ずしもスカイラインの方から来られるわけではないので、そのときにどうするのかということですね。

こういうところに設置する方法については手引きを作ったんですけど、考え方はいろいろあります。

(事務局)

鳴門公園線の交差点について、例えば、二段階右折のパターンで交差点設定し直すなどが考えられます。いくつか案を作成して、次回の検討委員会等でお示しできればと思います。

(山中委員長)

二段階右折について、右折とみるか直進とみるかでルールが違ってきますね。右折とした場合は、信号を2回待つ必要がありますね。

(中西委員)

今の道路標示は右折レーンと左折レーンですね。

(事務局)

そのあたりは県警とも協議しながら、何案かを取りまとめて、最適なものをご提案できたらと思います。

(木下委員)

資料1の11ページで、二段階右折用の滞留スペースが示されていますが、日常的な利用の中で、通学・通勤時間だと、高校生が自転車で何台も連なって走っているのをよく見ますが、信号待ちの際に、二段階右折用のスペースに何台くらい自転車が留まることを想定されているのかが気になりました。

(事務局)

二段階右折用の滞留スペースについて、交差点毎で滞留のためのスペースをどれだけ取れるかは変わってきますので、交差点毎の特性を踏まえて、設計していくことになると思います。

(島内委員)

同じく、二段階右折のことで、交差点で最初は直進して、滞留スペースの方で待つて曲がるということになると思うんですが、運転免許を取っている方であれば二段階右折してくださいとお知らせしたら、理解して行動してもらえると思いますが、高校生などの学生たちにとっては、春秋にある自転車の講習を受けたとしても、もう少し回数を増やすなどしなければ、行動することが難しいと感じていますが、これに関して何か講習のご予定等がありますか。

(事務局)

矢羽根、ピクトといった路面標示自体が県民の方等に十分に認知されていないことがあると思います。徳島市内では矢羽根等が整備されているので、ある程度は認識されつつあると考えておりますが、標準仕様が本検討委員会を通して策定できれば、ホームページ等で公開することにあわせて、教育委員会、県警とも協力しながら、周知を図っていくということからスタートしたいと思っています。

(川上委員)

2週間ほど前にビワイチに行ってきました。やはり矢羽根を頼りに走るの、設置することは重要だと思いました。矢羽根を目印にきちんと走っていれば、ドライバーも自転車も互いに譲り合えるようになるのではと考えておりますので、整備して欲しいと思います。

(児島委員)

自転車活用推進計画について、パブリックコメントでの意見も対応していただいて、本日の検討委員会の意見も反映していただくということで、いい計画ができたのではないかと考えております。実施に移す際には、課題とか交通安全面とかで協力が必要なことが多々あると思いますが、計画自体については特に意見はありません。

私の方からは資料3の66ページに自転車活用推進計画策定市町村数202

7年時点での目標が決まっておりますが、現在は徳島市と鳴門市が策定済で、今後は小松島市が策定予定ということで伺いました。5市町村の目標がありますので、あと何市町村か、例えば、松茂町、北島町、藍住町とかそういったエリアでくくって計画を策定することもよいと思いますので、市町村へのバックアップをお願いしたいと考えております。

(山中委員長)

合併して1つの自転車活用推進計画を策定しているところもあります。繋がっているところは一緒にやった方が早いですから、そういうことも是非支援していただければと思います。

(以 上)